

(公印省略)

芸短第18-20号  
令和6年12月11日

関係各大学長  
関係各大学大学院研究課長  
関係各機関長 } 殿

大分県立芸術文化短期大学長 小手川 大助

### 教員の公募について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では、下記のとおり専任の教員を公募することといたしました。教員・研究はもとより、大学の運営や地域貢献活動に積極的に参加いただき得る有為な人材を求めています。

つきましては、貴学・貴機関関係者に周知いただき、適任者のご推薦またはご応募へのご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

- 1 所属学科 音楽科及び専攻科音楽専攻
- 2 職 名 講師または助教
- 3 専門分野 和声アナリゼ
- 4 主な職務内容
  - (1) 音楽科
    - ① 音楽総合コース専門教育科目  
音楽総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、和声アナリゼⅠ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究
    - ② 音楽科専門教育科目  
音楽理論、和声学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ソルフェージュⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、作曲法
  - (2) 専攻科音楽専攻  
音楽研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、研究発表Ⅰ・Ⅱ、修了研究、和声アナリゼ特論A・B
  - (3) 教育・研究のほか、組織運営(学内の委員会等)、社会貢献(公開講座等)に関わる諸業務
- 5 採用人数 1名
- 6 採用予定日 令和7年9月1日
- 7 応募資格
  - (1) 大学院修士課程修了もしくはそれと同等以上の教育・研究能力を有する者
  - (2) 島岡理論を用いて和声アナリゼ教育を行うことができる者
  - (3) 教育に対する熱意と識見、実践的指導力を有する者
  - (4) 大学もしくは短期大学において教育歴(非常勤を含む)を有する者が望ましい
  - (5) 採用後、大分市または近郊に居住可能な者
  - (6) 年齢制限なし(ただし、本学の定年は65歳)

## 8 提出書類および資料

- (1) 履歴書（別記様式） 1通
- (2) 最終学歴証明書（学部卒業または大学院修了証書など） 1通
- (3) 業績書（別記様式） 1通  
業績書の概要欄に、それぞれ200字程度の概要を記入
- (4) 主な業績の現物資料（過去5年以内のもの） 1通  
著書、訳書、作品、論文、学会発表等（コピー可）
- (5) 教育指導に対する抱負（書式自由、A4用紙1枚程度） 1通
- (6) 推薦書があれば添付のこと 1通

※注1：履歴書・業績書などの書式ファイルは、本学ホームページの教員採用のページに掲載しています。（<https://www.oita-pjc.ac.jp/daigaku/management/recruit/241209.html>）

※注2：提出書類及び資料は、選考以外の目的で使用することはありません。また、審査終了後には、責任を持って廃棄します。提出書類は、原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、宛名記入・着払い送り状または切手添付の返信用封筒を同封してください。

※注3：提出書類（1）及び（3）に関しては、本学指定の様式の項目を満たしていれば、それ以外の様式で作成しても構いません。

## 9 応募期間 令和7年5月12日（月） 必着

## 10 書類提出先

〒870-0833 大分県大分市上野丘東1番11号  
大分県立芸術文化短期大学 学長 宛

※注：封筒の表に「音楽科教員応募」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

## 11 選考方法

書類選考及び面接（模擬授業を含む）

※第1次選考：提出された書類及び現物資料の審査

※第2次選考：模擬授業及び面接 令和7年6月中～下旬 本学にて（予定）

※模擬授業及び面接を行う場合、令和7年6月上旬まで（予定）に電話（またはメール）にてご連絡いたします。

※面接等にかかる旅費、宿泊費等の諸経費は、応募者の負担とします。

## 12 採用後の待遇

「公立大学法人大分県立芸術文化短期大学職員給与規程」、「同職員就業規則」及び「同職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程」等によります。

また、労働基準法第38条の3に定める専門業務型裁量労働制を導入しています。

## 13 問い合わせ先

音楽科長 川瀬 麻由美

電話 097-545-0542（代表）

ファクシ 097-545-0543

E-mail m.kawase@oita-pjc.ac.jp